重点施策 05

木陰と風が心地いい、まちなかへ

緑とベンチをまちなかに増やす。
子どもが遊べて、歩行者が休める滞在空間をつくる。





過ごしたくなる、歩きたくなるまちなかへ。
暑熱対策を都市計画へ反映して、心地良く過ごせる中心市街地を目指します。

重点施策 06・07

世界に届く
シティセールス

松山の魅力を繋げて世界へ発信！



道後、松山城、瀬戸内海、食、お遍路を束ね、松山を世界に発信。

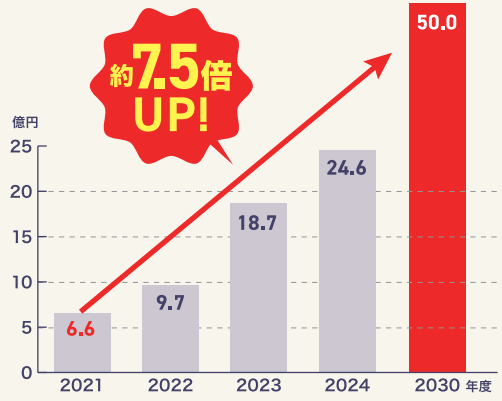
ふるさと納税
50億 突破

外から稼ぎ、松山の産業を育てる。





ふるさと納税
寄付金額
50億円



ふるさと納税3.0実装。基金設立で外から稼ぎ、松山の産業を育て、市民に還元。

しっかりと外から稼ぎ、市民の豊かな暮らしに還元する

重点施策 08

つながる力で、松山をもっと前へ。

国と県、近隣市町と連携して、地域を前に進める。
広域連携で、人口減少時代の縮充社会を考える。



国と県、そして伊予市・東温市・砥部町・松前町・久万高原町と手を取り合い、
企業誘致・観光・防災を広域で進めます。

城山土砂災害



原因を明らかにし、
二度と繰り返さない。

命の重みと、被災された方々の声に向き合います。

1 検証する



第三者委員会を早期に設置

災害の原因と、発災前後の
行政対応を検証します。

2 公開する



検証結果と再発防止策を公開

何が起き、何を変えるのかを
市民に明らかにします。

3 向き合う

被災された住民への説明会を開催

情報提供を徹底し、
疑問や不安に向き合います。

約束します。命を最優先に。

説明責任から逃げない松山市をつくります。

夢政策：堀之内の規制緩和

堀之内を、もっと自由に

市民がもっと使える場所へ。
飲食、イベント、スポーツ、文化など、新しい可能性を広げます。





夢政策：図書館

文化が日常になる
世界に誇れる
図書館をつくる



本を借りるだけでなく、カフェ、学び、仕事、子育て、
交流が交わる一日過ごしたくなる図書館を。
世界から人が集まる「市民のリビング」へ







NEXT



あなたの暮らしを豊かにする
「11のNEXT」

8つの重点施策を含め、政策を11分野に整理しました。
大切にしたのは、**当事者の声。**市民の声から政策をつくり、ともに松山の未来をつくります。

01 | 子どもNEXT
（育てる）

子育てを家庭だけに
背負わせない松山へ



02 | 健康・福祉NEXT
（ささえる）

誰もが、安心して
健やかに暮らせる松山へ



03 | 防災NEXT
（まもる）

「学ぶ防災」から
「実際に命を守る防災」へ



04 | 移動NEXT
（つなぐ）

誰もが、どこへでも
無理なく、お出かけ



05 | まちづくりNEXT
（ひらく）

まちの景色を変え
人の流れを変え、経済を動かす



06 | 経済NEXT
（稼ぐ）

松山の魅力を
仕事・所得・投資・税収につなげる



07 | 文化・スポーツNEXT
（楽しむ・つながる）

文化とスポーツを、もっと身近に
暮らしの豊かさと、まちの活力へ



08 | 若者NEXT
（芽吹く）

若者が、松山で働き
挑戦し、未来を描けるまちへ



09 | 女性活躍NEXT
（花開く）

誰もが、自分らしく働き
挑戦できる松山へ



10 | 市役所改革NEXT
（変える）

市役所が変われば、松山を
変えるスピードが変わる



11 | デジタルNEXT
（あたらしく）

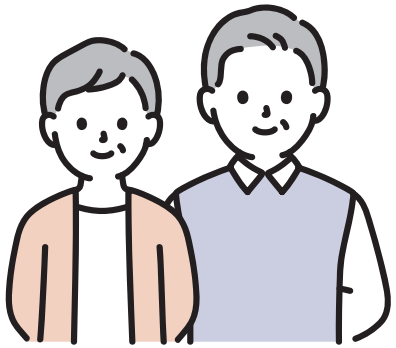
デジタルの力で、もっと
便利に、もっと市民に近い
市役所へ



それぞれの
政策は、
こちらからご覧ください

先輩世代と一緒に創る

先輩世代の皆さまと一緒に創るのは、何歳になっても生き生き暮らせる松山

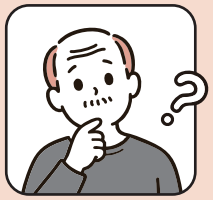




Q バス代も高くなり、路線も減っていくと聞きます。自動車免許返納後、買い物や病院に行けるのか不安です。



既存バスの増便ではなく、地域に合わせた乗り合い型のAIデマンドタクシーを積極的に支援します。さまざまな地域で活用されている、現実的な案です。新たな公共交通の導入を検討する上で、まずは地域住民、民間企業の方々と議論する場である地域公共交通会議を設置して地域の声を大切に交通への不便さを解消して参ります。

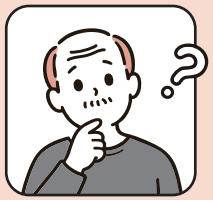


Q 仕事を離れても、まだまだ社会の役に立ちたい。これまでの経験を、松山のために生かせる場所はありませんか？



ぜひ、松山の未来づくりに力を貸してください。長年培ってこられた経験や知恵は、松山にとって大きな力です。地域の課題解決に挑戦する「シニアベンチャー」や社会起業を応援いたします。公民館なども活用し、趣味やカルチャーで、若い世代との交流も支援します。人生100年時代。何歳になっても、やりたいことがある。そんな松山を、皆さんと一緒につくります。

先輩世代と一緒に創る



Q 物価が上がり、年金はなかなか増えない中、この先も安心して暮らしていけるでしょうか？



市にできることを徹底します。一つ、暮らしの負担軽減を総点検します。医療や介護の負担、入浴料などのについて、拡充できるものはないか、検討します。二つ、給付の「取りこぼしゼロ」を目指します。国の給付金や市の支援を、申請しなくても皆さまの元に確実にお届けする仕組みに改めます。三つ、元気でいられる居場所づくりに力を入れます。介護予防、仲間と集える場、困ったときに相談できる窓口を、身近な地域に整えます。皆様に、安心して松山市で暮らしていただけますように。



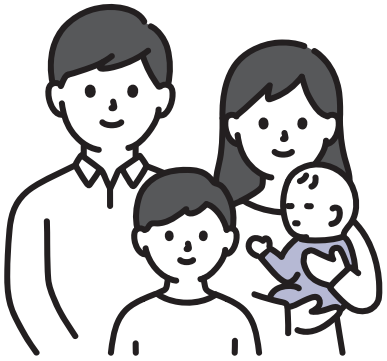
Q 親の介護をしています。これからも続けていけるか、正直不安です。介護する家族への支援もは考えていますか？



介護される方も、介護する家族も支えます。これから介護の需要はさらに増え、在宅で介護を受けたいというニーズも高まります。住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、訪問介護などの在宅サービスを充実し、介護人材の確保・待遇改善を進めます。同時に、介護する家族が休めるレスパイト（休息）の受入枠や相談体制も拡充します。介護を、家族だけに背負わせない松山をつくります。

現役世代と一緒に創る

現役世代の皆さまと一緒に創るのは、圧倒的に子育てしやすい松山





Q 市役所の手続きって、もっと簡単になりませんか？仕事を休んで窓口へ行くのも、何度も書類を書くのも大変です。



一人ひとりに合ったサービスを届ける市役所を目指します。市役所がすでに持っている市民の皆さんのデータを活用し、**あなたに必要な行政サービスを、必要なタイミングで届ける仕組み**をつくります。例えば、新しい子育て支援や介護支援が始まったら、対象となる方のスマホにお知らせが届き、そのまま簡単に申請できる。まずは、電子申請できる手続きを増やすことから始めます。フィンランドでは、スマートフォンを通じて、一人ひとりに合った公共サービスをプッシュ型で届ける仕組みが進んでいます。松山でも、本人の同意を前提にデータを活用し、こうした便利な行政サービスを目指します。あなたに必要なサービスが、市役所から届く。市役所に行く手間と時間を減らし、あなたの時間を大切にできる松山市をつくります。



Q 育児と仕事で、気がつけば一日が終わります。毎日のことで精いっぱい。もう少し、時間にも気持ちにも余裕がほしいです。



0～2歳児の保育料を4年間で無償化し、病児・病後児保育の利用料も支援します。産後ケアも、負担を軽くし、受入枠を増やします。さらに、家事代行やベビーシッター、一時預かりなどに使える「子育てチケット」を創設します。子育てを、家庭だけで抱え込まなくていいように、お金の負担だけでなく、時間と心にも余裕を持てる松山をつくります。

現役世代と一緒に創る



Q 子どもの部活動がなくなってしまわないか心配です。



部活動の地域移行を進めるうえで、大きな課題となる指導者不足を解消するため、「松山版指導者バンク」を支援します。地域のスポーツや文化活動の経験者と、子どもたちをつなぐ仕組みをつくります。将来的には、活動場所への送迎など、保護者の負担を軽くする支援にも広げられるよう検討していきます。

地域移行によって、子どもの「やりたい」が失われない、子どもがスポーツに、当たり前に親しめる松山をつくります。



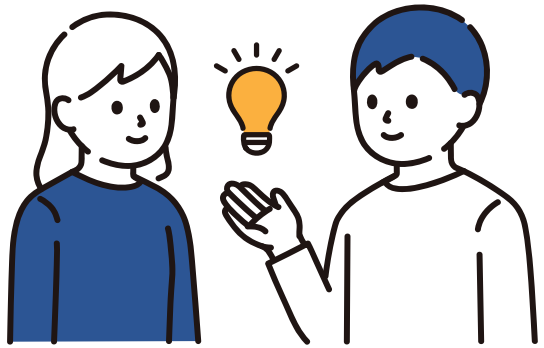
Q 最近、外国人による犯罪などを見聞きし、治安が心配です。移民について、どのように考えていますか？



市民の安心が大前提。受け入れるなら、ルールを明確にします。中長期的には、安価な労働力に依存するのではなく、地元企業が成長し、賃金が上がる経済をつくることが大切です。しかし、外国人材が必要な現場が増えていることも、現実です。だからこそ、松山市として「責任ある外国人材受け入れ」の条例・指針を検討します。外国人住民にも、日本人と同様に税・社会保険・地域ルールの遵守を求め、国保などの保険料は公平・厳正に徴収し、滞納にも適切に対応します。一方、受け入れる企業にも適正な賃金・雇用、社会保険、生活支援への責任を求め、不適正な低賃金雇用を行う企業を市が税金で支援することはしません。

受け入れるなら、明確なルールと責任を。市民が安心して暮らせる松山を守ります。

未来世代と一緒に創る



未来世代の皆さまと一緒に創るのは、あなたに合った学びができる松山

昔ながらの一方通行の授業が、今も残っている教育現場があります。社会がこれだけ大きく変わっているのだから、教育も変えていかなければなりません。子どもたちは、得意なことも、苦手なことも、学ぶスピードも一人ひとり違います。そこで「一人ひとりに合った教育」と「教員の働き方改革」を進めます。子どもを教育に合わせるのではなく、教育を子どもに合わせる松山を目指します。



Q 若者の声は、本当にまちづくりに反映されますか？



若い世代の声を「聞くだけ」で終わらせず、実際のまちづくりにつながる仕組みをつくります。例えば、学校で、生徒と一緒に校則を見直すような取組をします。そして学校の外では、中高生や大学生など、若者が主体の声を届ける場をつくります。若者発のアイデアやプロジェクトを、実現に向けて行政が伴走します。商店街の出店やイベントの企画など、若い世代の声と挑戦が、ワクワクする松山に繋がるようにします。



Q 大学に進学したいけど、学費や生活費が心配で・・・。奨学金も考えているのですが、将来的に返済を考えるとちょっと不安です。



奨学金の返済は不安ですよね。実際に返済に苦しむ若い方からも、相談を受けます。就任後１年以内に返済支援制度を設計し、松山の企業による奨学金の代理返還制度の普及・拡大を進めます。安心して挑戦してくださいね。

未来世代と一緒に創る



Q 放課後、友達といられる場所がありません。友達と話したり、テスト前に一緒に勉強したりしたいけど・・・。



若い人が「ここにいたい」と思える場所を、もっとつくります。放課後、友達と話したり、一人で勉強したり、何となく過ごす。お金を使わなくても、安心していられる場所がもっとあっていいですよね。

私は、松山市民が気軽に使える「まちのリビング」のような新しい図書館の整備を目指しています。それは時間がかかりますが、他にも、公共空間を自由に市民が使えるように活用を考えていきます。どんな場所を、どう使いたいか。それも、若者の意見取り入れて行きたいと思っています。



Q やりたい仕事が、松山にはありません。松山は好きだし、できれば地元で暮らしたい。でも、やりたい仕事や魅力的な会社を探すと、県外に出るしかないのかなと思ってしまいます。



若い人が働きたい仕事に出会えるよう、地元企業の成長を支援するとともに、デジタル、クリエイティブ、高度バックオフィスなど、若い世代が働きたい企業や仕事を松山に呼び込みます。
さらに、スタートアップや起業など、「やりたい仕事がないなら、自分でつくる」挑戦も応援します！

政治姿勢



私が大切にする、3つのこと

市民全体にとって何が最善か。
その一点を基準に、決断し、動き、伝える市政へ。

1 しがらみなき是々非々の政治

良いものは伸ばす。変えるべきものは変える。

データと現場の声をもとに事業を検証。前例や利害にとらわれず、市民全体の利益で判断します。

2 スピード・リーダーシップ

決める。そして、動く。

重点政策は就任100日以内に工程表を策定。目標と進捗を公表し、結果に責任を持ちます。

3 透明性の高い情報発信・対話を大切に

開かれ信頼される市役所へ。

タウンミーティングや記者会見を「見える化」。市民の声を聴き、市政に反映します。

最後に
松山は、もっと良くなる。
私は、本気でそう信じています。

豊かな自然、歴史や文化、食、そして人の温かさ。
松山には、次の世代へ残していきたい大切なものがあります。

しかし今、社会は大きな転換点にあります。
AIをはじめとする技術革新は、かつてない速度で進み、
産業も、働き方も、暮らしも変わろうとしています。
変化の時代に、現状維持という選択肢はありません。停止すれば、転落する。

だからこそ必要なのは、
前例踏襲ではなく、変化すること。

「できない理由」ではなく、「できる方法」を見つけるために足掻くこと。
挑戦する人が称えられる社会を作ること。
10年先、20年先を見据え、松山のあるべき未来を、あなたと描きたいのです。

私は、まちづくりには「夢」が必要だと思っています。
夢をビジョンに変え、ビジョンを政策に落とし込む。未来は、その積み重ねによってつくられます。

戦後、焼け野原となった松山を、先人たちはここまで築き上げて下さいました。
困難な時代にも未来を信じ、今日の松山を私たちに残してくれました。

今度は、私たちの番です。

子どもたちが未来に希望を持てる。若い人が挑戦できる。働く人が豊かさを実感できる。
そして、年を重ねても安心して暮らせる。
そんな松山を、次の世代へ手渡したい。

今こそ、新しい松山へ

私は、希望、情熱、そして松山への愛を胸に、進みます。
一緒に、世界に誇れる松山を、つくりませんか？



後援会入会



田中エリナの活動をぜひチームの一員となって応援してください。皆さんも一緒に松山をより良く変えていきませんか？

ボランティア募集中



ビラ折りや封筒への封入作業など、室内での事務作業応援や、対話集会やイベントやゴミ拾い活動などに参加して一緒に活動してくださる方を募集しています。

対話集会参加者募集中



松山市、全ての地区で対話集会を開催中。
是非参加して、直接田中エリナに、あなたのお住まいの地区のお悩み、課題、声を届けてください。

最後まで読んでくださってありがとうございました。

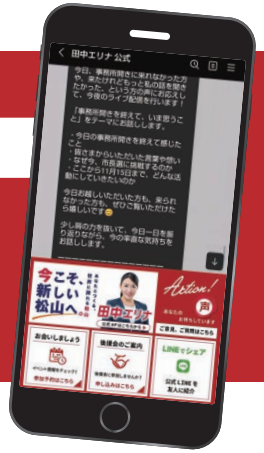


あなたとつくる、「対話」継続中！

もっと皆さまの声を聞くために、田中エリナが皆さまの元へ駆けつけます！
「来てほしい」「呼びたい」といった機会がございましたら、
公式ラインよりお気軽にご連絡ください！お待ちしております。

田中エリナへ直接メッセージが送れます！

LINE 公式アカウント
お友だち登録後、
メッセージはこちらから！



本冊子へのご意見・ご感想がありましたら、ぜひお寄せください。

田中エリナ後援会事務所
〒790-0012 愛媛県松山市湊町4丁目8−2
TEL：080-9034-3952 メール：info@tanakaerina.com